

官民による若手研究者発掘支援事業
(社会実装目的型の医療機器創出支援プロジェクト)
令和6年度終了課題 事後評価結果

1. 研究開発課題名：尿道内圧変化を用いた術中骨盤神経モニタリングシステムの開発
2. 研究開発代表者氏名（所属）：甲斐 健吾（宮崎大学）

【評価（公開）】

骨盤内悪性腫瘍手術において骨盤内自律神経を温存することを目的に、尿道内圧変化を捉えることで骨盤神経を認識してモニタリングしながら手術を行うことを可能とする手術システムの研究開発を行い、課題を残しているものの、基本的なコンセプトを得た。開発サポート機関の支援を受けて研究開発成果の社会実装に向けた意識を修得したことを評価する。

以上